

【注】この事前課題は、演習の初日（1コース：8月9日（月）、2コース10月20日（水））に御提出ください。様式は京都府社会福祉協議会ホームページ「イベント情報」からダウンロード可能です。データでの作成をご希望の方は御活用ください。

この研修では、限られた時間を有効に活用し、有意義な内容とすることを目的に、事前課題の作成を課しています。演習で使用する事例・アセスメントシートを十分に読み込み、手引きに従って事前準備をして演習に参加してください。演習は、すべての受講者が事前課題を作成、準備していることを前提に進めます。

1. 事例・アセスメントシートの読み込み

まずは、演習事例・アセスメントシートを十分に読み込んでください。サビ管研修では、事業(所)を想定した個別支援計画を作成していきませんが、生活の全体像や人物像、これまでの生活やこれからの生活など、総合的に生活を把握する視点で事例を読み込んでください。

2. 利用者のストレングス

個人および環境のもつストレングスを書き出します。つまり、個人のストレングスとしては、本人の持つ強み、できること、持っているもの等を、環境のストレングスとしては、環境の持つ強さ、生活する上での有利な条件、キーパーソンを含む人的環境の存在などを書き出してください。

その際、事例の中に出てくるキーワードや本人の言動、場面などを抜き書きすることを基本に、事例から類推できること（根拠が必要）についても合わせて書き出してください。

3. 本人の望む生活（本人の望みと家族の意向）

事例から読み取れる「本人の望む生活」について書き出します。ただし、事例の中には「〇〇のような生活をしたい」とは明確に現れない場合もありますが、本人の望む生活、実現したい具体的な項目を書き出してください。また、本人の望みと平行して、家族の意向についても書き出してください。ただし、家族の意向を書き出す場合は、例えば（ ）書きで（母）と明記するなど、本人ではなく家族の意向であることが分かるように記入してください。

その際、上記2.同様、事例の中に出てくるキーワードや本人の言動、場面などを抜き書きすることを基本に、事例から類推できること（根拠が必要）についても合わせて書き出してください。

4. プロの援助者である「私」として気になること

この項には、事例の読み込み、ストレングス、本人の望む生活や家族の意向（つまり上記1.～3.を通じて整理したこと）を踏まえ、プロの援助者の立場から考えた時に気になることを書き出します。例えば、事例に文字としては現れていない隠れた要望やニーズ、予想される状況の変化やその時に生じるであろうニーズ、明確には示されていないが推測される家族の意向や反応（行動や態度）など、ケースを把握し、計画を立て、支援を実施していくことを想定した際に気になること、留意しておいたほうが良いと思われることについて書き出してください。

尚、この項目については、「サービス提供の基本的な考え方」や「サービス提供のプロセス」等の講義内容を踏まえて作成して下さい。